



平成28年11月号



概況

最近の県内経済は、個人消費の一部に弱さがみられるものの持ち直し傾向は継続している。

まず個人消費関連では、百貨店・スーパー販売は7ヶ月連続のマイナスとなった。自動車販売は、登録車、届出車合計で5ヶ月連続のマイナスとなった。

住宅建設は、持家、貸家、分譲住宅が減少し8ヶ月ぶりのマイナスとなった。公共投資は、国、県、市町村が大きく増加し、3ヶ月ぶりのプラスとなった。

生産関連では、鉱工業生産指数（季節調整値）は前月比10.6%低下の105.4と、3ヶ月ぶりに低下した。28年県産リンゴ販売は、県外市場販売額が前年比8.8%の減少となった。八戸港の水揚げは、数量が減少、金額は増加した。

雇用情勢は、有効求人倍率が前月比0.1ポイント上昇の1.11倍と昭和38年の集計開始以来の過去最高値を更新した。

個人消費	9月の 百貨店・スーパー販売額 (速報ベース、店舗調整後)は前年同月比3.4%減と7ヶ月連続のマイナスとなった。百貨店が同6.0%減、スーパーが同2.7%減となった。 9月の 自動車販売台数 は登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比3.4%減の5,206台と5ヶ月連続のマイナスとなった。登録車が同2.0%増と3ヶ月ぶりのプラス、届出車は同9.9%減と13ヶ月連続のマイナスとなった。
住宅投資	9月の 新設住宅着工戸数 は前年同月比4.2%減と8ヶ月ぶりのマイナスとなった。持家が同4.1%減、貸家が同3.2%減、分譲住宅が同10.2%減となった。
公共投資	9月の 公共工事請負額 は、全体で前年同月比36.9%増の236億7,900万円と3ヶ月ぶりのプラスとなった。独立行政法人等が同59.8%減となったものの、国は同210.1%増、県と市町村は同22.6%増となった。
一次産業	農林水産省東北農政局の調査によると、 28年産水稻の作柄 (10月15日現在)における登熟は、南部・下北地帯が「良」、青森地帯、津軽地帯がともに「やや良」と見込まれる。 28年県産リンゴ販売 は、9月の県外出荷量が前年同月比14.4%減、消費地市場価格が同7.8%上昇となり、県外市場販売額は同8.8%減となった。 9月の 八戸港水揚げ は、数量が前年同月比13.5%減、金額は同0.7%増となった。
生産活動	8月の 鉱工業生産指数 (季節調整値)は、業務用機械、鉄鋼、電気機械などが低下し、前月比10.6%低下の105.4と3ヶ月ぶりに低下した。原指数では電子部品・デバイス、食料品、パルプ・紙などが上昇し、前年同月比0.1%上昇の103.0と3ヶ月連続で前年同月を上回った。

一次産業

米

28年産米、作況指数は「104」

農林水産省東北農政局の調査によると、青森県の平成28年産水稻の県平均作柄（10月15日現在）は、10a当たり予想収量が590kg、作況指数は「104」と見込まれており、予想収量、作況指数ともに東北平均を上回っている。平年と比べると、穂数が「やや多い」、1穂当たりもみ数が「やや少ない」、全もみ数が「平年並み」、登熟が「やや良」と見込まれている。

作柄表示地帯別にみると、登熟は南部・下北地帯が「良」、青森地帯、津軽地帯がともに「やや良」と見込まれている。10a当たりの予想収量と作況指数をみると、青森地帯は570kgの「103」、津軽地帯が610kgの「103」、南部・下北地帯が550kgの「104」と、いずれも平年を上回る作柄が見込まれている。

● 28年産水稻の作柄概況（10月15日現在）

作柄表示地帯	10a当たり (kg)		作況指数	穂数の多少	1穂当たりもみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否
	予想収量	平年収量					
青森県平均	590	569	104	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良
青森地帯	570	552	103	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
津軽地帯	610	591	103	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良
南部・下北地帯	550	527	104	平年並み	やや少ない	やや少ない	良
東北平均	563	544	103	平年並み	平年並み	平年並み	やや良

資料出所：東北農政局

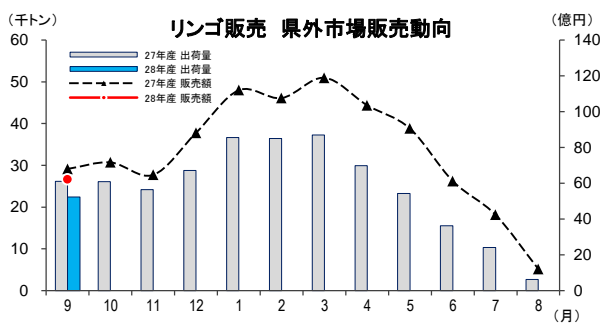
りんご

28年産、県外市場販売額、前年比8.8%減

28年県産りんご販売、9月の県外出荷量は前年同月比14.4%減の22,433トンとなった。これは前3ヶ年の9月平均出荷量を6.7%上回る水準である。価格面をみると、産地価格は前年同月比21.8%上昇、前3ヶ年比較では29.3%上昇の190円/kgとなった。一方、消費地市場価格は「早生ふじ」が前年同月比11.6%上昇の336円/kg、「つがる」が同9.4%上昇の256円/kg、合計では同7.8%上昇、前3ヶ年比較で同10.8%上昇の278円/kgとなった。この結果、県外市場販売額は前年同月比8.8%減、前3ヶ年比較で22.2%上昇の62億300万円となった。

平成28年産県産りんご販売は、「つがる」の小玉傾向などから出荷量が前年に比べ少なかった。市場での競合果実の入荷量が少なかったことなどから価格は高値となったものの、県外出荷量、県外市場販売額とも前年同月を下回ってスタートした。

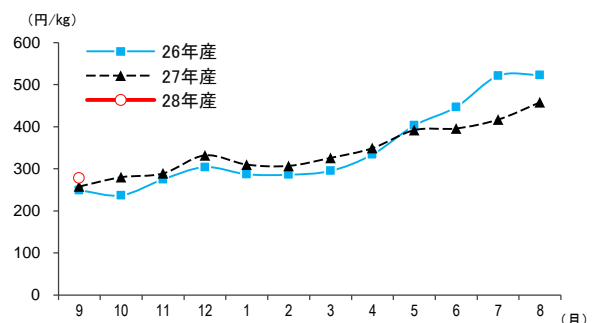
● リンゴ販売 県外市場販売動向



資料出所：県りんご果樹課

(注) 出荷量：生食用(県外市場、輸出、小口他)
販売額：小口、加工向けを除く販売額

● 消費地市場価格の推移（全種平均）



資料出所：県りんご果樹課

一次産業

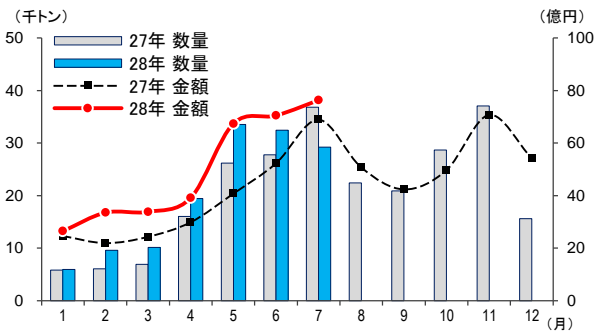
海面漁業

7月の海面漁業、数量 20.6%減、金額 10.9%増

7月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比 20.6%減の 2万 9,209 トン、漁獲金額が同 10.9%増の 76 億 3,154 万円となった。これは前年同月に比べ、ホタテガイ（半成貝、成貝）等の漁獲金額が増加したことによる。

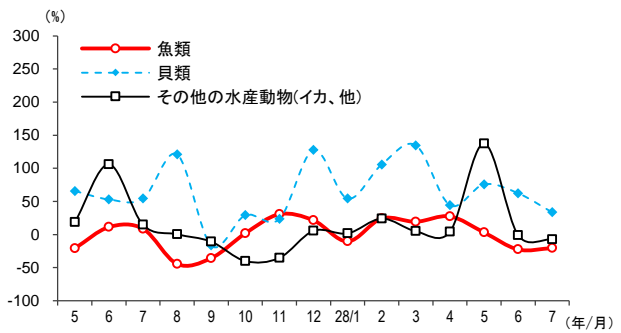
魚種別にみると、「魚類」は、サバ、マイワシの大幅減少がみられ、数量が前年同月比 64.3%減の 3,410 トン、金額は同 20.5%減の 9 億 1,001 万円となった。「貝類」はホタテガイ（半成貝）の水揚げが大幅に増加し、数量が同 4.4%増の 2万 2,148 トン、金額は同 33.4%増の 51 億 8,654 万円となった。「その他の水産動物」はスルメイカ（近海・生）が大幅に減少し、数量が同 29.1%減の 3,568 トンとなり、金額は同 7.4%減の 15 億 297 万円となった。

● 海面漁業 漁獲数量と金額



資料出所:青森県農林水産部

● 魚種別漁獲金額 (前年同月比増加率)



資料出所:青森県農林水産部

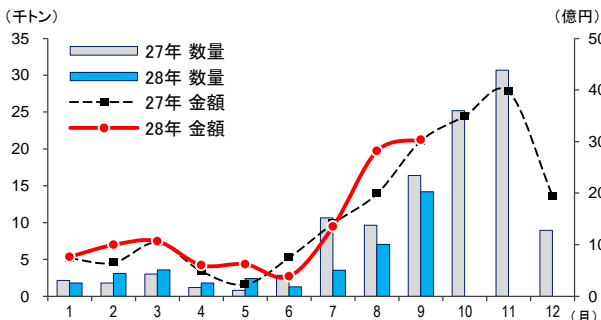
八戸港水揚げ

9月水揚げ、数量 13.5%減、金額 0.7%増

9月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比 13.5%減の 14,199 トン、金額は同 0.7%増の 30 億 1,011 万円と、数量が減少したものの金額は幾分増加した。

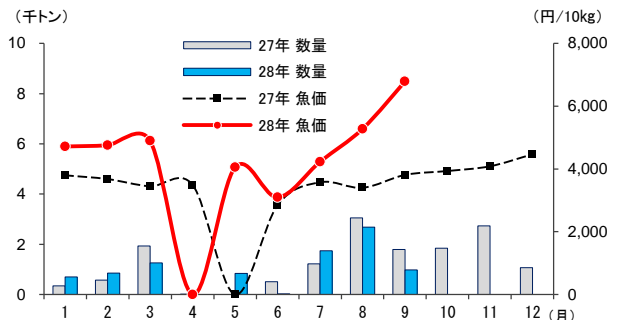
イカ釣り漁は、数量が前年同月比 45.2%減の 986 トン、金額は同 2.4%減の 6 億 6,947 万円と数量は大幅減、金額も減少した。近海生スルメイカ漁や船凍スルメイカ漁が前年を下回ったが、品薄による高値相場は続いている。大中型旋網漁は、道東沖でのマイワシ漁が豊漁で、数量が前年同月比 6.0%増の 10,814 トンとなったものの、マイワシの単価の安さから金額は同 1.1%減の 12 億 5,158 万円となった。機船底引き網漁は、中型船の八戸前沖でのスルメイカ漁が不漁だったものの、品薄から高値相場となり、数量が前年同月比 50.1%減の 1,639 トン、金額は同 20.0%増の 8 億 1,318 万円となった。

● 八戸港水揚げ高



資料出所:八戸市水産事務所

● イカの水揚げ数量と魚価



資料出所:八戸市水産事務所 (注)平成27年5月、平成28年4月は水揚げ実績なし

二次産業

鉱工業生産

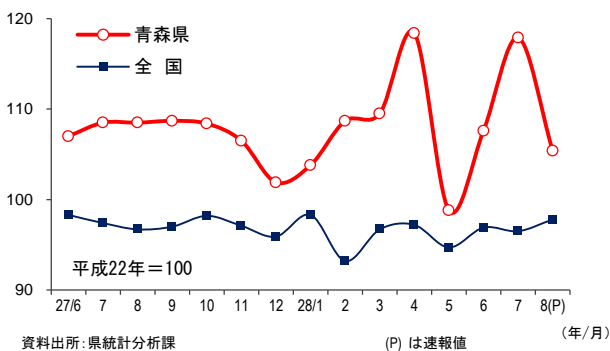
前月比 10.6%低下、3ヶ月ぶりに低下

8月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成22年=100)は前月比10.6%低下の105.4と3ヶ月ぶりに低下した。

主要6業種をみると、電子部品・デバイスが前月比5.5%上昇したものの、業務用機械が同13.1%、鉄鋼が同7.7%、電気機械が同5.9%、食料品が同3.7%、パルプ・紙が同0.8%それぞれ低下した。

原指数で前年同月と比較すると、鉄鋼、電気機械が低下したものの、電子部品・デバイス、食料品、パルプ・紙、業務用機械が上昇し、前年同月比0.1%上昇の103.0と3ヶ月連続で前年同月を上回った。

● 鉱工業生産指数



● 業種別生産指数 (平成28年8月)

業種 ()内は一万分比ウェイト	季節調整済指数		原指数	
	平成22年=100	前月比 (%)	平成22年=100	前年同月比 (%)
鉱工業 (10,000.0)	105.4	△ 10.6	103.0	0.1
食料品 (2,410.0)	104.4	△ 3.7	102.9	5.3
鉄鋼 (1,200.9)	93.4	△ 7.7	95.6	△ 17.9
電子部品・デバイス (1,048.2)	161.0	5.5	158.1	15.9
業務用機械 (1,005.1)	91.2	△ 13.1	85.3	0.9
パルプ・紙 (722.3)	92.1	△ 0.8	97.9	5.2
電気機械 (429.2)	91.3	△ 5.9	104.2	△ 10.1

資料出所: 県統計分析課

投資財生産指数

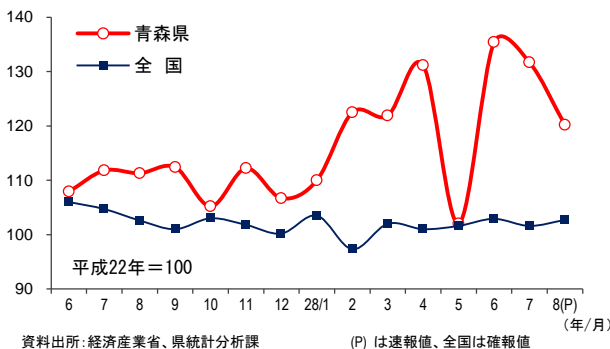
前月比 11.5%低下、2ヶ月連続低下

8月の投資財生産指数(季節調整済速報値、全国は確報値、平成22年=100)は前月比11.5%低下の120.2と2ヶ月連続で低下した。

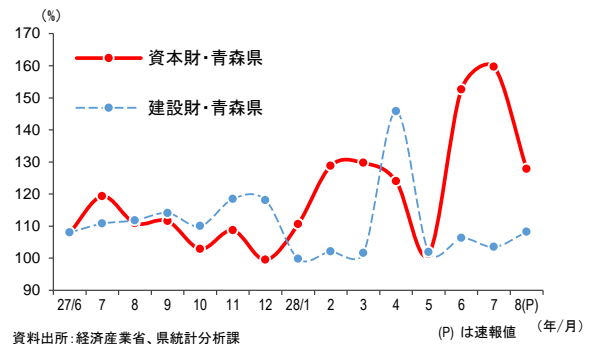
さらに投資財生産指数を資本財、建設財の各指数に細分化してみると、資本財生産指数が前月比31.9%低下の127.8、建設財生産指数は同4.7%上昇の108.2となった。

当月の投資財生産指数の低下は、資本財生産指数の低下によるものである。

● 投資財生産指数



● 資本財、建設財別指数 (増加率)



二次産業

公共工事

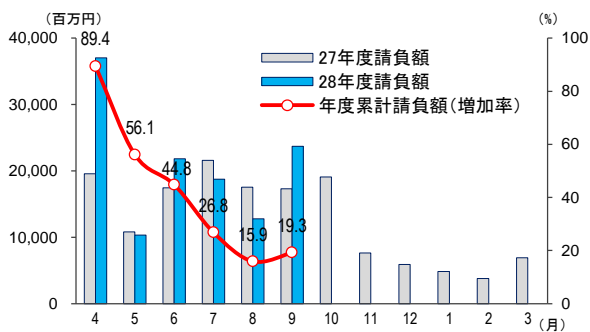
前年同月比 36.9%増、3ヶ月ぶりのプラス

9月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比 36.9%増の 236 億 7,900 万円となり、3ヶ月ぶりのプラスとなった。

当月の請負額は、国が、国土交通省、農林水産省、防衛省のいずれもが大幅に増加し、同 210.1%増の 49 億 6,600 万円となった。独立行政法人等は、同 59.8%減の 2 億 900 万円となった。県は、農林水産部などが大幅に増加し同 22.6%増の 109 億 1,700 万円となった。市町村は、同 22.6%増と大幅に増加し 59 億 6,200 万円となった。

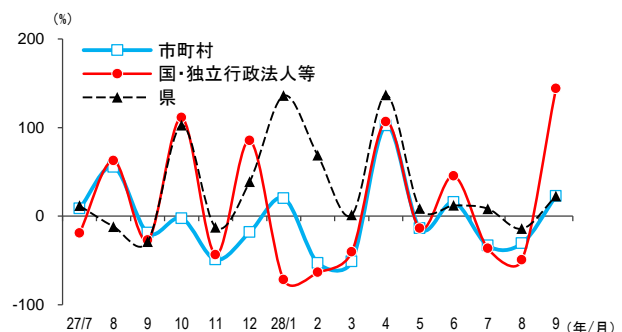
当月は、国、県、市町村の大幅な増加により、全体では前年実績を 4 割近く上回った。

● 公共工事請負額



資料出所: 東日本建設業保証(株)

● 発注主体別・月別請負額の推移(前年同月比増加率)



資料出所: 東日本建設業保証(株)

住宅着工

前年同月比 4.2%減、8ヶ月ぶりのマイナス

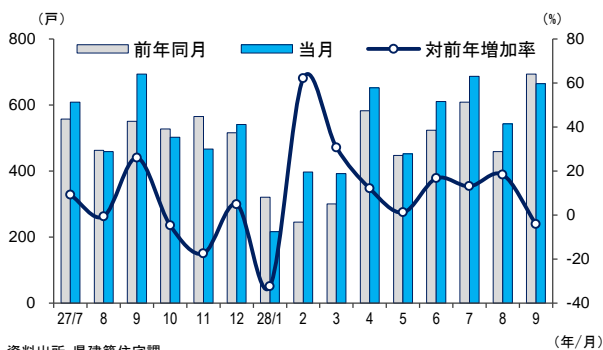
9月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比 4.2%減の 664 戸と 8ヶ月ぶりのマイナスとなった。利用関係別では、持家が同 4.1%減、貸家が同 3.2%減、分譲住宅が同 10.2%減となった。

地域別にみると、全体では、弘前市、黒石市、十和田市、三沢市、つがる市で増加したものの、青森市、八戸市、むつ市、平川市、郡部で減少した。

持家は、弘前市、黒石市、十和田市などで増加したものの、青森市、八戸市、五所川原市などで減少した。貸家は、八戸市、黒石市、十和田市などで増加したものの、青森市、弘前市などで減少した。

好調に推移してきた県内の新設住宅着工だが、当月は、持家、貸家、分譲住宅ともに減少し一服感がみられた。前年を下回ったものの、9月としては過去 10 年(H19~)では、3 番目に高い水準である。

● 新設住宅着工戸数



資料出所: 県建築住宅課

● 利用関係別戸数

	(単位: 戸, %)		
	28年 9月	27年 9月	前年 同月比
持家	376	392	△ 4.1
貸家	241	249	△ 3.2
給与住宅	3	3	0.0
分譲住宅	44	49	△ 10.2
総戸数	664	693	△ 4.2

資料出所: 県建築住宅課

三次産業

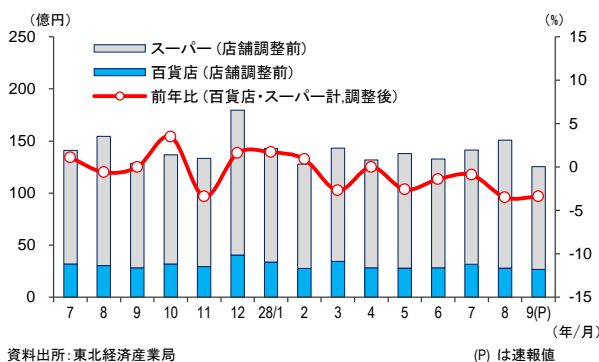
百貨店・スーパー販売

前年同月比 3.4%減、7ヶ月連続マイナス

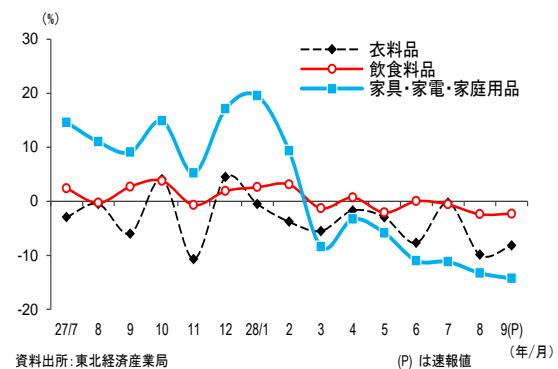
9月の県内百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比 3.4%減と7ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同 6.0%減、スーパーが同 2.7%減となった。

品目別では、衣料品が同 8.2%減、ウエートの高い飲食料品が同 2.3%減、家具・家電・家庭用品が同 14.3%減となった。衣料品は、気温が高めで推移したことから秋物商品の動きが鈍く、婦人服、紳士服とも前年を1割近く下回った。飲食料品は、前年を幾分下回った。家具・家電・家庭用品は、家具が、新築需要が少なく鈍い動きとなった。家電製品は、エアコンが好調だったものの、カラーテレビや洗濯機が伸び悩んだ。家庭用品は引き続き低調だった。

百貨店・スーパー販売動向



品目別売上高(店舗調整済、増加率)



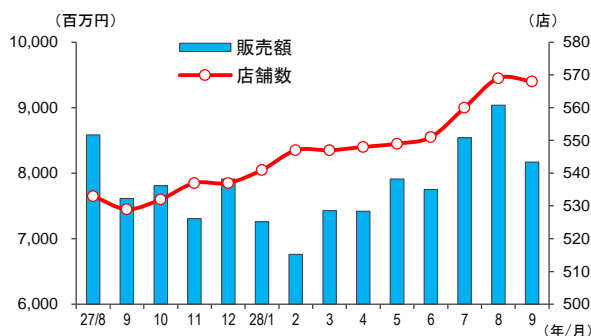
各種小売業態販売額

コンビニエンスストア販売額、前年同月比 7.3%増

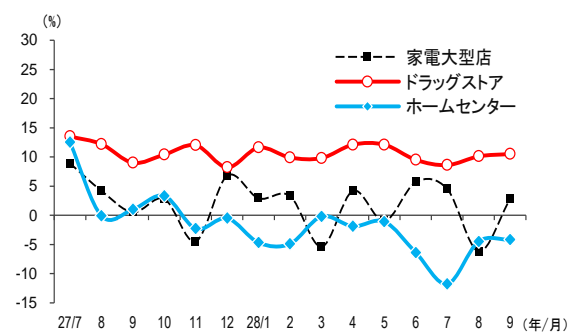
9月のコンビニエンスストア販売額(確報値、全店ベース)は、前年同月比 7.3%増の 81 億 7,100 万円となった。店舗数は、前年同月比 7.4%増の 568 店となった。

また、各種小売業態販売動向(全店ベース、増加率)をみると、家電大型専門店は前年同月比 2.8%増、ドラッグストアは同 10.5%増、ホームセンターは同 4.2%減となった。

コンビニエンスストアの販売動向と店舗数



各種小売業態販売動向(全店ベース、増加率)



資料出所: 東北経済産業局 (注) コンビニエンスストアの県別販売額は、平成27年7月からの調査結果であり前年との比較は未掲載。

資料出所: 東北経済産業局

三次産業

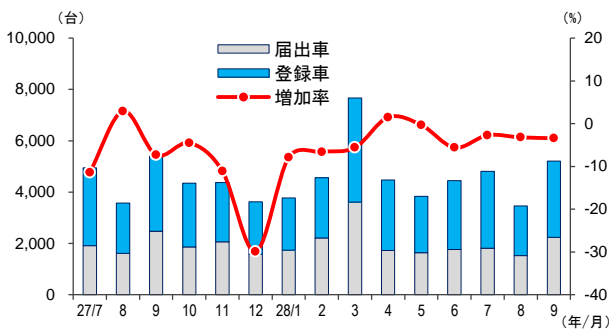
自動車販売

前年同月比 3.4%減、5ヶ月連続のマイナス

9月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比 3.4%減の 5,206 台と 5ヶ月連続のマイナスとなった。内訳別にみると、登録車は、小型乗用車が同 14.1%減となったものの、普通乗用車は同 33.3%増、貨物車は同 1.1%増となり、登録車合計では同 2.0%増の 2,972 台と 3ヶ月ぶりのプラスとなった。届出車は貨物車が同 10.3%減、乗用車が同 9.7%減となり、届出車合計では同 9.9%減の 2,234 台と 13ヶ月連続のマイナスとなった。

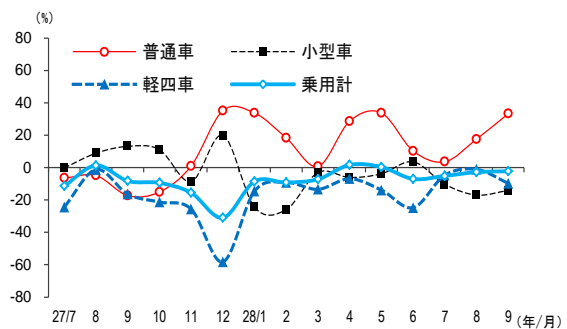
乗用車の登録・届出合計販売台数は、同 2.3%減の 4,146 台と 4ヶ月連続のマイナスとなった。

自動車販売動向



資料出所: 日本自動車販売協会連合会青森県支部

乗用車販売動向 (増加率)



資料出所: 日本自動車販売協会連合会青森県支部

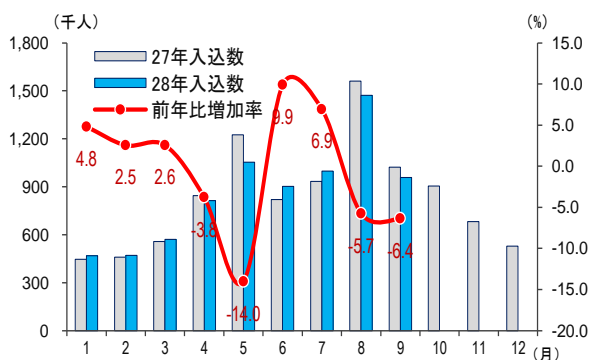
観光動向

前年同月比 入込数 6.4%減、宿泊者数 1.9%減

9月の県内の観光動向は、県内 34 施設の入込数が前年同月比 6.4%減の 95 万 7,213 人となった。施設別入込数は、アスパムが同 9.5%増の 14 万 7,413 人、石ヶ戸休憩所が同 5.5%増の 4 万 2,289 人、一方、浅虫水族館は同 24.4%減の 2 万 5,390 人、八食センターは同 17.0%減の 22 万 8,413 人、弘前市立観光館は同 14.0%減の 6 万 56 人などとなった。

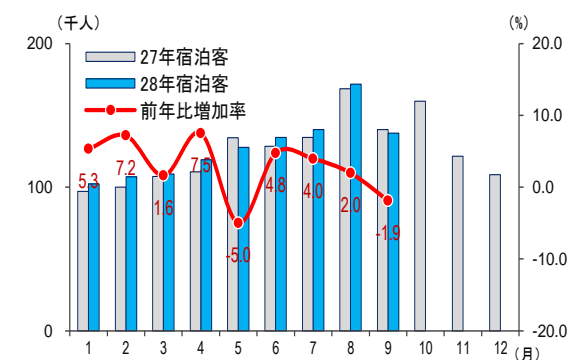
また県内 53 施設 (6 月以前は 54 施設) の宿泊者数は、前年同月比 1.9%減の 13 万 7,523 人となった。八戸市 (19 施設) が同 3.4%増の 4 万 1,995 人、一方、青森市 (12 施設) は、同 1.6%減の 3 万 5,312 人、弘前市 (17 施設) は、同 2.6%減の 4 万 7,723 人、むつ市 (6 施設) は、同 14.9%減の 1 万 2,493 人などとなった。

県内 34 施設入込数



資料出所: 県観光国際戦略局観光企画課

県内 53 施設宿泊者数



資料出所: 県観光国際戦略局観光企画課

物価・雇用・金融

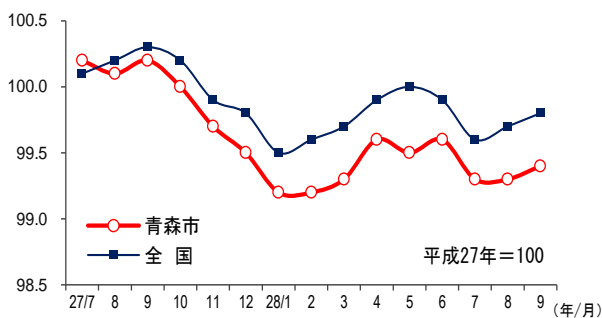
消費者物価指数

前月比 0.1%上昇、前年同月比 0.8%低下の 99.4

9月の青森市の消費者物価指数(平成22年=100)は前月比0.1%上昇、前年同月比0.8%低下の99.4となった。主要費目別に前月と比べると、「食料」が生鮮野菜などの値上がりにより0.5%、「被服及び履物」がシャツ・セーター・下着類などの値上がりにより3.1%上昇した。前年同月との比較では、「教育」(1.6%)、「食料」(1.1%)、「被服及び履物」(1.0%)などが上昇した一方、「光熱・水道」(△7.4%)と「交通・通信」(△3.8%)などが下落した。

なお「生鮮食品を除く総合指数」は99.3となり、前月比横ばい、前年同月比では0.1%下落した。

● 消費者物価指数



資料出所: 県統計分析課

● 費目別指数の動き(平成28年9月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	99.4	0.1	△ 0.8
食料	102.2	0.5	1.1
住居	100.4	0.0	0.3
光熱・水道	90.5	△ 0.3	△ 7.4
家具・家事用品	97.9	0.6	△ 1.2
被服及び履物	102.3	3.1	1.0
保健医療	100.8	0.1	0.7
交通・通信	96.2	△ 0.9	△ 3.8
教育	102.0	0.0	1.6
教養娯楽	101.9	△ 0.2	0.7
諸雑費	101.1	△ 0.3	0.9

資料出所: 県統計分析課

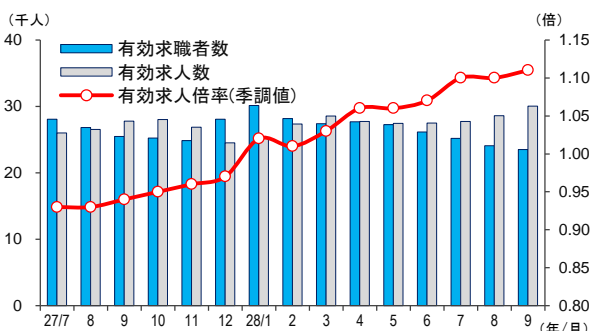
雇用動向

有効求人倍率、過去最高の 1.11 倍、9ヶ月連続 1 倍超え

9月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比8.2%増の3万51人、有効求職者数は同7.7%減の2万3,525人となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比12.9%増、臨時・季節求人数が同13.7%減、パート求人数が同2.8%増となり、全数では同5.6%増の1万1,496人となった。主要産業別の新規求人動向を前年同月比でみると、製造業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業・物品賃貸業、宿泊業、飲食サービス業などで減少したものの、サービス業、建設業、医療・福祉、生活関連サービス業、娯楽業、情報通信業、運輸業、郵便業、教育、学習支援業などで増加した。

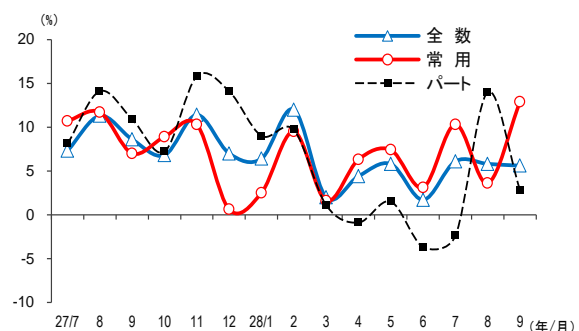
県内の雇用状況は、有効求人倍率が、前月比0.1ポイント上昇の1.11倍となり、1963年の集計開始以来の最高値を更新した。9ヶ月連続の1倍超えであり県内の雇用環境は改善が続いている。

● 有効求人倍率



資料出所: 青森労働局

● 新規求人数の増加率



資料出所: 青森労働局

物価・雇用・金融

企業倒産

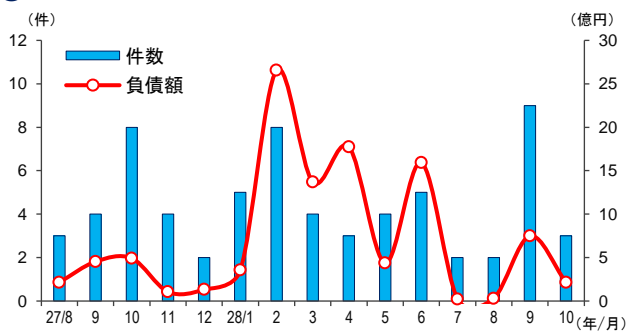
前年同月比、倒産件数 5 件減、負債総額 2 億 7,800 万円減

10月の県内企業倒産は、件数が前年同月比で5件減の3件、負債総額は同2億7,800万円減の2億1,300万円となり、件数、負債総額ともに再び前年を下回った。前月比では件数が6件減、負債総額は5億3,500万円減となった。業種別では、卸売業、小売業、運輸業が各1件となった。地域別では、八戸市、弘前市、三戸郡にて各1件の発生となった。原因別では、3件とも販売不振だった。

県内の企業倒産件数は、引き続き一桁台となり前年同月比で5件の減少となった。負債総額は、3件いずれもが1億円以下の倒産であり半減した。先月急増した倒産は再度鎮静化した。

なお、当月の従業員被害者は24名であり、1月からの年間累計で216名となった。

● 企業倒産状況



資料出所: 東京商工リサーチ

(注) 負債総額1千万円以上

● 業種別・原因別件数 (平成 28 年 10 月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業		放漫経営	
建設業		過小資本	
製造業		他社倒産の余波	
卸売業	1	既往のシワ寄せ	
小売業	1	信用低下	
金融・保険業		販売不振	3
不動産業		売掛金回収難	
運輸業	1	在庫状況悪化	
情報通信業		設備投資過大	
サービス業 他		その他	
合計	3	合計	3

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

金融動向

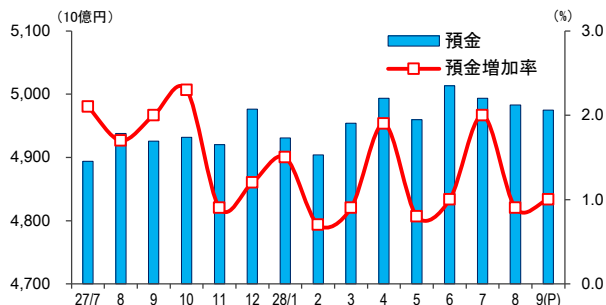
預金、貸出金とも 41 ヶ月連続のプラス

9月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比1.0%増の4兆9,747億円、貸出金は同3.5%増の2兆9,081億円とそれぞれ増加した。

預金は法人預金を中心に前年を上回った。預金全体のプラス幅は前月比0.1ポイント増加し、41ヶ月連続のプラスとなった。

一方、貸出金は法人、個人、地公体向けが、いずれも増加し前年を上回った。貸出金全体のプラス幅は前月比0.1ポイント減少ながら、41ヶ月連続のプラスとなった。

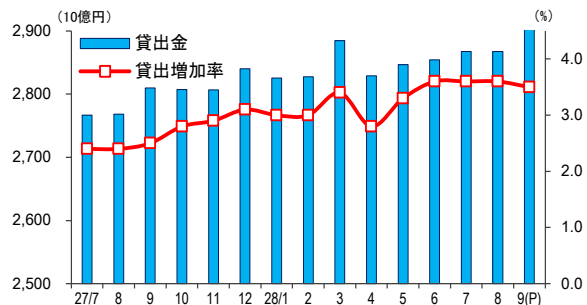
● 預金の推移



資料出所: 日本銀行青森支店

(P) は速報値

● 貸出金の推移

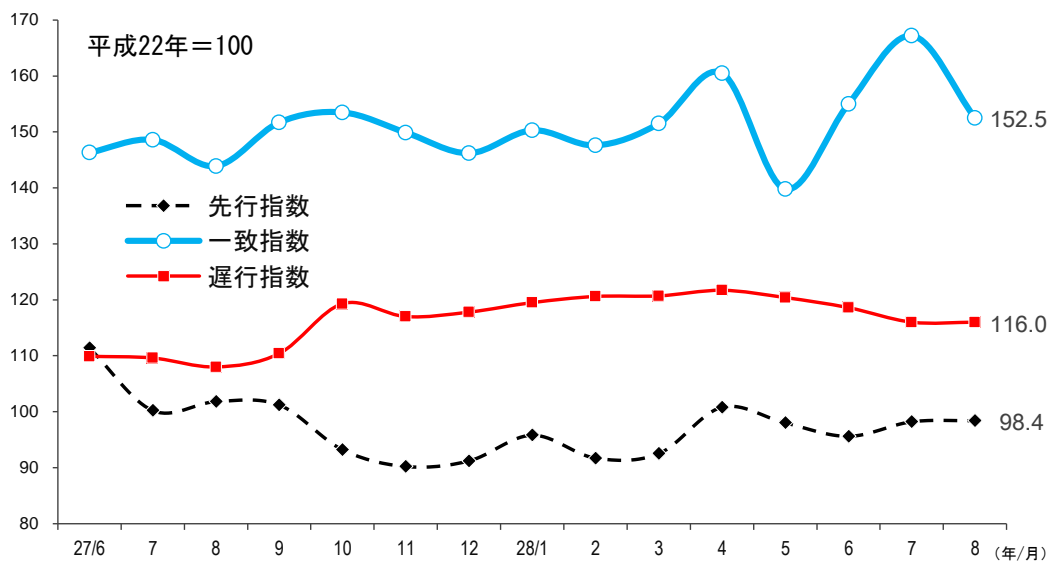


資料出所: 日本銀行青森支店

(P) は速報値

青森県景気動向指数

● 青森県景気動向指数（CI）の推移



資料出所: 県統計分析課

(注) 平成28年1月分から採用系列見直し

● 一致指数 採用系列の寄与度

上段: 寄与度がプラスを○、マイナスを●で表示
下段: 寄与度

採用系列名	28年 3月	4月	5月	6月	7月	8月
1. 百貨店・スーパー販売額(既存店)	● △ 1.87	○ 1.31	● △ 1.34	○ 0.52	○ 0.22	● △ 1.42
2. 旅行取扱高	○ 2.44	○ 0.98	● △ 3.31	○ 2.30	○ 1.80	○ 0.46
3. 鉱工業生産指数	○ 0.23	○ 3.68	● △ 5.88	○ 3.88	○ 4.50	● △ 5.60
4. 投資財生産指数	● △ 0.09	○ 1.52	● △ 4.96	○ 5.48	● △ 0.58	● △ 1.92
5. 有効求人倍率(全数)	○ 1.60	○ 3.20	● △ 1.72	● △ 0.12	○ 3.32	○ △ 1.80
6. 輸入通関実績(八戸港)	● △ 1.58	○ 0.18	● △ 1.14	● △ 0.05	○ 1.36	○ 0.24
7. 所定外労働時間指数(全産業)	○ 3.10	● △ 1.83	● △ 2.32	○ 3.12	○ 1.34	● △ 4.39

資料出所: 県統計分析課

※景気動向指数(CI: Composite Index)とは

1. 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を100として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。CIには次の3指数がある。

先行指数……景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用

一致指数……景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用

遅行指数……景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

2. CIは景気変動の大きさ(景気の山の高さや谷の深さ)やテンポ(景気の拡張や後退の勢い)を測定する。CIが上昇している時は景気の拡張期(好況)であり、低下している時は景気の後退期(不況)である。

国内景気

概況

国内景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が継続。個人消費は総じてみれば底堅い動き。設備投資は持ち直しの動きに足踏みがみられる。住宅建設はこのところ横ばい。輸出はおおむね横ばい。生産は持ち直しの動きがみられる。企業収益は高い水準だが、改善に足踏みがみられる。企業の業況判断は一部に慎重さがみられる。雇用情勢は改善。消費者物価は横ばい。

百貨店・スーパーの動向（既存店ベース）

—前年同月比 3.2%減、2ヶ月連続のマイナス—
9月の百貨店・スーパー販売額は前年同月比 3.2%減と2ヶ月連続のマイナスとなった。業態別にみると、百貨店が同 5.0%減、スーパーは同 2.3%減となった。商品別にみると、衣料品が同 8.8%減、飲食品は同 1.3%減、その他商品は同 2.9%減となった。

住宅建設

—前年同月比 10.0%増、3ヶ月連続のプラス—
9月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 10.0%増の 8万 5,622戸と3ヶ月連続のプラスとなった。利用関係別では、持家が同 1.4%増と8ヶ月連続の増加、貸家が同 12.6%増と11ヶ月連続の増加、分譲住宅が同 17.0%増と再びプラスとなった。

企業倒産

—倒産件数、負債総額とも減少—
9月の企業倒産は、件数が前年同月比 3.6%減の 649件、負債総額は同 68.6%減の 850億 6,300万円。倒産件数は再び減少、負債総額は3ヶ月ぶりに減少した。9月としては件数が1990年の 531件以来の低水準。負債総額は、1,000億円を割り込み、2015年8月以来の低水準。

為替動向

—10月末終値 104円 91銭—
10月の東京外国為替市場は前月末から続落 101円台でスタート。上旬は米国経済指標の改善を受け、日米金利差拡大を見込んだ円売りが進行し 103円台まで低下。中旬も米国の年内利上げ観測を背景に 103円台後半から 104円台前半で推移。後半も日米金利差拡大を見込んだ円売りが進み一時 105円台まで低下した。月末終値は 104円 91銭。

鉱工業生産指数

—前月比横ばいの 97.8—

9月の鉱工業生産指数は前月比横ばいの 97.8(季節調整値)となった。はん用・生産用・業務用機械、輸送機械、化学(除、医薬品)等が上昇し、情報通信機械、電子部品・デバイス、金属製品などが低下した。10月は、はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、情報通信機械などの上昇により前月比 1.1%上昇を予測している。

新車販売（除く軽自動車）

—前年同月比 3.7%増、2ヶ月連続のプラス—

9月の国内新車販売は前年同月比 3.7%増の 31万 7,048台と2ヶ月連続のプラスとなった。乗用車が同 3.8%増、貨物車は同 2.4%増となった。乗用車は普通乗用車が同 12.7%増と6ヶ月連続のプラス、小型乗用車は同 5.7%減と5ヶ月連続のマイナスとなった。

完全失業率

—前月比 0.1ポイント低下の 3.0%—

9月の完全失業率は前月比 0.1ポイント低下の 3.0%となった。完全失業者数は前年同月比 23万人減の 204万人となり、76ヶ月連続で減少した。求職理由別にみると、勤め先や事業の都合が前年同月比 8万人減の 33万人、自己都合が同 6万人減の 88万人などとなった。

消費者物価指数

—前月比 0.2%上昇の 99.8—

9月の全国消費者物価指数(2015年=100)は前月比 0.2%上昇、前年同月比 0.5%下落の 99.8となった。前月に比べ、被服及び履物、食料などが上昇した一方、交通・通信、教養娯楽などが下落した。生鮮食品を除く総合指数は、前月比横ばい、前年同月比 0.5%下落の 99.6。

国際収支

—経常収支、27ヶ月連続で黒字—

9月の経常収支額は前年同月比 3,688億円増(25.4%増)の 1兆 8,210億円と27ヶ月連続で黒字となった。「貿易収支」の黒字幅の拡大が寄与した。経常収支の内訳は、貿易・サービス収支が 5,307億円の黒字、第一次所得収支が 1兆 5,066億円の黒字、第二次所得収支が 2,163億円の赤字だった。

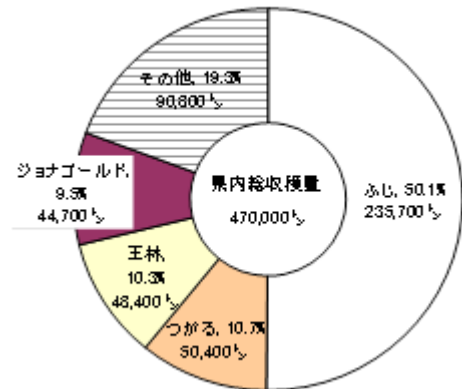
今月の統計

平成27年産 青森県産リンゴの概況

農 林水産省の調べによると、平成27年産の全国のリンゴ収穫量は、前年産比0.6%減の81万1,500トンとやや減少した。青森県産リンゴの収穫量は同0.4%増の47万トンとなり、全国の57.9%を占めた。同年産の青森県産リンゴは、開花期間中好天であったことから結実量が多く、十分な着果量となったほか、果実肥大も平年を上回り、収穫量は前年を上回る豊作となった。

青森県産リンゴの収穫量を品種別にみると、「ふじ」が23万5,700トン(50.1%)と最も多く、次いで「つがる」が5万400トン(10.7%)、「王林」が4万8,400トン(10.3%)、「ジョナゴールド」が4万4,700トン(9.5%)などの順となった。

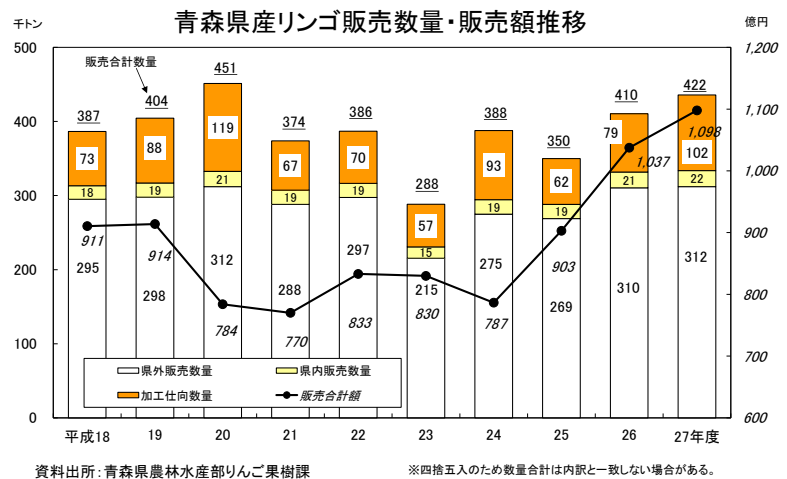
平成27年産 青森県産リンゴの収穫量内訳



資料出所: 農林水産省農林水産統計

平 成27年度(平成27年9月～28年8月)の県産リンゴの販売実績をみると、販売合計数量は前年度比6.2%増の43万5,732トンとなった。うち県外販売数量は同0.5%増の31万2,054トン、県内販売数量は同1.9%増の2万1,580トン、加工仕向数量は同29.6%増の10万2,098トンと、それぞれ前年度を上回った。

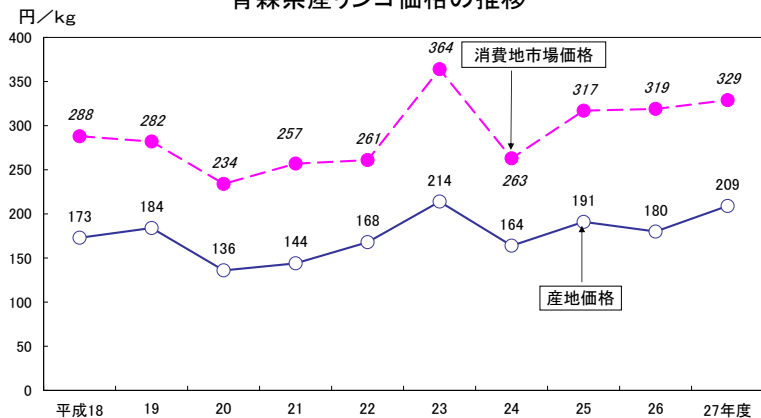
価格面をみると、全種平均産地価格が前年度比16.1%上昇の209円/kg、同消費地市場価格は同3.1%上昇の329円/kgとなった。27年産は、消費地市場への出荷量が平年に比べやや多かったものの、品質・食味とも良好であり、競合果実の入荷量が少なかったことなどから高値が続いた。その結果、販売合計金額は同5.8%増の1,097億99百万円と、前年度を上回った。



資料出所: 青森県農林水産部りんご果樹課

※四捨五入のため数量合計は内訳と一致しない場合がある。

青森県産リンゴ価格の推移



資料出所: 青森県農林水産部りんご果樹課

県内・国内トピックス 10月

県内

- 5日 平川市、国の「バイオマス産業都市」県内初の選定**
農林水産省の発表によると、間伐材や食品廃棄物等のバイオマス(生物資源)を活用し産業振興に取り組む「バイオマス産業都市」に、平川市を含む全国 16 市町村が新たに認定された。
- 10日 「青天の霹靂」、本格的全国販売開始**
平成 28 年産「青天の霹靂」が全国で一斉に発売された。デビュー 2 年目を迎え本格的な全国展開を図るなか、首都圏の販売店などでは事前予約が入るなど、高級ブランド米の地位確立に向け順調な出足となった。
- 16日 津軽ダム完成**
昭和 63 年の事業着手から 28 年を経て、国が西目屋村に建設していた津軽ダムが完成した。同ダムは、洪水調節、流水の正常な機能維持、かんがい用水補給、水道用水供給、工業用水供給、発電の機能を有する多目的ダムであり、新たなダム湖「津軽白神湖」は観光資源としての活用も期待されている。
- 19日 47 都道府県魅力度ランキング、本県 17 位に上昇**
民間シンクタンクである㈱ブランド総合研究所が発表した 2016 年の都道府県別魅力度ランキングによると、本県は前年の 25 位から 17 位に上昇した。また、同時に発表された魅力度上位 100 市区町村ランキングでは、弘前市が 40 位に、十和田市が 74 位にそれぞれランクインしている。
- 25日 平成 28 年県産米、1 等米比率 93.2%**
東北農政局青森県拠点が発表した平成 28 年産米の検査結果(速報値、9 月末現在)によると、米粒の形や色が一定の基準を満たした 1 等米比率は前年同時期比 0.7 ポイント低下の 93.2%となった。品種別の 1 等米比率は、青天の霹靂が 96.1%、つがるロマンが 95.1%などとなった。

国内

- 4日 大隅良典・東京工業大学名誉教授、ノーベル生理学・医学賞単独受賞**
スウェーデンのカロリンスカ研究所は、平成 28 年のノーベル生理学・医学賞を、生物が細胞内で不要なたんぱく質を分解して再利用する「オートファジー」の仕組みを解明した東京工業大学の大隅良典名誉教授に授与すると発表した。日本人のノーベル賞受賞は 3 年連続となる。
- 11日 街角景気、3 カ月ぶりに悪化**
内閣府が発表した 9 月の景気ウォッチャー調査によると、景気の現況を示す現況判断指数は前月比 0.8 ポイント低下の 44.8 となり、3 カ月ぶりの悪化となった。部門別では、企業動向関連が 1.0 ポイント、雇用関連が 0.1 ポイントそれぞれ改善した一方、家計動向関連が 1.5 ポイントの悪化となった。
- 18日 平成 28 年度上半期企業倒産件数、8 年連続減少**
東京商工リサーチが発表した平成 28 年度上半期(4~9 月)の企業倒産件数(負債総額 1,000 万円以上)は、前年同期比 3.9%減の 4,216 件となり 8 年連続で減少した。負債総額は同 29.3%減の 6,623 億 9,200 万円と 2 年ぶりに前年同期を下回った。
- 19日 訪日外国人消費額、4 年 9 カ月ぶり減少**
観光庁が発表した平成 28 年 7~9 月の訪日外国人の消費額は前年同期比 2.9%減の 9,717 億円となった。前年同期比での減少は、平成 23 年 10~12 月期以来 19 四半期ぶりとなる。
- 25日 10 月の月例経済報告、景気の基調判断据え置き**
内閣府は 10 月の月例経済報告で、景気の基調判断を「このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」と、7 カ月連続で据え置いた。

全国の主要経済指標

年次及び月	日証券発行高 (平均残高・億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行貸出約定平均 金利 (年利%)	景気動向指数(一致) 2010年=100	国内企業物価指数 2010年=100	消費者物価指数 2015年=100	鉱工業生産指数 2010年=100	機械受注(季調済) (億円)	公共工事請負額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)							
2011(H23)	792,805	598,668	425,858	1.452	-	101.5	96.3	97.2	88,961	
2012(H24)	809,455	613,690	433,823	1.364	-	100.6	96.2	97.8	88,134	128,456
2013(H25)	835,998	640,633	449,134	1.258	-	101.9	96.6	97.0	93,232	150,536
2014(H26)	866,132	660,844	461,147	1.180	-	105.1	99.2	99.0	96,920	165,257
2015(H27)	908,485	679,106	475,937	1.110	-	102.7	100.0	97.8	100,891	149,257
2015(H27) 7	906,796	674,054	465,907	1.137	113.3	103.2	100.1	97.4	8,155	14,321
8	910,354	673,470	465,905	1.135	112.6	102.5	100.2	96.7	7,916	13,760
9	913,980	676,940	470,471	1.125	112.4	102.1	100.3	97.0	8,384	15,225
10	917,792	673,540	468,785	1.125	113.6	101.4	100.2	98.2	8,918	14,020
11	924,879	679,175	471,254	1.121	112.8	101.3	99.9	97.1	8,050	10,480
12	955,628	679,106	475,937	1.110	111.5	100.9	99.8	95.9	8,130	11,811
2016(H28) 1	956,932	677,992	475,000	1.108	112.3	99.9	99.5	98.3	9,347	8,547
2	944,904	687,209	473,374	1.098	110.3	99.6	99.6	93.2	8,487	10,211
3	951,906	704,814	480,044	1.076	111.1	99.5	99.7	96.7	8,951	23,359
4	956,074	713,531	475,438	1.066	112.7	99.1	99.9	97.2	7,963	7,969
5	957,942	714,947	475,966	1.054	110.3	99.2	100.0	94.7	7,850	7,412
6	951,991	715,380	478,005	1.039	112.0	99.1	99.9	96.9	8,498	14,466
7	960,075	711,968	478,318	1.033	112.1	99.1	99.6	96.5	8,919	12,706
8	962,598	713,266	478,897	1.026	111.9	98.8	99.7	97.8	8,725	13,674
9	961,605				P 112.1	98.8	99.8	P 97.8	8,437	21,528
前月比%	-0.1	0.2	0.1	-0.007*イント	0.2ポイント	0.0	0.2	0.0	-3.3	57.4
前年同月比%	5.2	5.9	2.8	-0.109*イント	-	-3.2	-0.5	0.9	4.3	41.4
資料出所	日本銀行				内閣府	日本銀行	総務省	経済産業省	内閣府	国土交通省

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※機械受注は、船舶・電力を除く民需、前年同月比は原指数による

年次及び月	新設住宅着工戸数 (戸)	新車登録届出台数 (乗用車) (千台)	百貨店・スーパー販売額 (億円)	企業倒産		完全失業率 (季調済) (%)	国際収支(経常) (億円)	東京外為相場 (月平均) (円/US\$)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	日経商品指数 (月末42種) ('70年=100)
				件数 (件)	負債総額 (億円)					
2011(H23)	834,117	3,525	195,933	12,734	35,929	4.6	104,013	79.76	8,455.35	165.195
2012(H24)	882,797	4,572	195,916	12,124	38,346	4.3	47,640	79.79	10,395.18	169.679
2013(H25)	980,025	4,562	197,774	10,855	27,823	4.0	44,566	97.71	16,291.31	188.334
2014(H26)	892,261	4,699	201,973	9,731	18,741	3.6	38,805	105.79	17,450.77	183.036
2015(H27)	909,299	4,216	200,491	8,812	21,124	3.4	164,127	121.09	19,033.71	160.852
2015(H27) 7	78,263	356	17,057	787	1,201	3.3	17,938	123.23	20,585.24	174.461
8	80,255	271	16,056	632	979	3.4	16,249	123.23	18,890.48	169.466
9	77,872	400	15,114	673	2,709	3.4	14,521	120.22	17,388.15	166.020
10	77,153	315	16,072	742	1,062	3.1	14,018	120.06	19,083.10	165.098
11	79,697	314	16,490	711	1,417	3.3	11,059	122.54	19,747.47	163.272
12	75,452	308	20,925	699	3,854	3.3	9,401	121.84	19,033.71	160.852
2016(H28) 1	67,815	329	16,913	675	1,269	3.2	5,901	118.25	17,518.30	155.948
2	72,831	382	14,886	723	1,635	3.3	23,874	115.02	16,026.76	154.942
3	75,744	532	16,463	746	1,759	3.2	29,862	113.07	16,758.67	156.095
4	82,398	269	15,456	695	1,033	3.2	18,313	109.88	16,666.05	158.194
5	78,728	276	15,978	671	1,159	3.2	17,827	109.15	17,234.98	158.665
6	85,953	344	15,675	763	1,082	3.1	9,815	105.49	15,575.92	156.704
7	85,208	348	17,210	712	1,240	3.0	P 19,382	103.90	16,569.27	157.572
8	82,242	279	15,541	726	1,260	3.1	P 20,008	101.27	16,887.40	156.636
9	85,622	397	14,705	649	851	3.0	P 18,210	102.04	16,449.84	156.713
前月比%	4.1	42.1	-1.0	-10.6	-32.5	-0.1*イント	-	0.8	-2.6	0.0
前年同月比%	10.0	-0.7	-3.2	-3.6	-68.6	-0.4*イント	25.4	-15.1	-5.4	-5.6
資料出所	国土交通省	自販協連合会	経済産業省	東京商工リサーチ		総務省	財務省	日本銀行	日経新聞社	

※百貨店・スーパー販売額(2015.7大型小売店販売額を名称変更)の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

※企業倒産は負債額1千万円以上

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行(-)還収 超額(億円)	県内金融機関		鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	公共工事請負額		企業倒産	
	(人)	社会動態(+/-) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)		(百万円)	うち県分 (百万円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)
2011 (H23)	1,371,440	-3,465	693	47,408	26,781	95.8	182,648	54,547	73	34,830
2012 (H24)	1,361,053	-5,311	1,287	47,633	26,780	104.7	208,618	55,074	57	52,781
2013 (H25)	1,347,650	-5,924	1,762	48,252	27,298	106.4	197,238	60,716	53	11,199
2014 (H26)	1,333,729	-6,269	1,957	49,114	27,890	106.9	169,394	58,023	66	9,485
2015 (H27)	1,319,297	-6,205	2,749	49,540	28,849	107.9	151,727	58,460	52	6,894
2015 (H27) 7	1,309,272	-100	168	48,939	27,665	108.5	21,592	7,718	3	162
8	1,308,552	-160	184	49,379	27,681	108.5	17,562	6,120	3	215
9	1,307,723	-101	210	49,258	28,098	108.7	17,298	8,906	4	453
10	1,308,265	-28	296	49,320	28,072	108.4	19,106	7,222	8	491
11	1,307,463	-74	240	49,204	28,069	106.5	7,657	2,385	4	106
12	1,306,631	-128	763	49,762	28,402	101.9	5,892	2,673	2	132
2016 (H28) 1	1,305,721	-239	-186	49,309	28,253	103.8	4,867	1,928	5	356
2	1,304,593	-320	281	49,042	28,274	108.7	3,779	1,377	8	2,655
3	1,303,392	-5,274	271	49,540	28,849	109.5	6,905	3,692	4	1,369
4	1,297,378	502	298	49,937	28,291	118.4	37,048	12,688	3	1,773
5	1,297,165	-168	119	49,599	28,466	98.8	10,337	3,842	4	437
6	1,296,266	-162	332	50,133	28,545	107.6	21,814	8,455	5	1,592
7	1,295,463	-100	202	49,937	28,673	117.9	18,765	8,366	2	22
8	1,294,831	19	214	49,828	28,672	P 105.4	12,774	5,252	2	30
9	1,294,209	66	198	P 49,747	P 29,081		23,679	10,917	9	748
10	1,293,681		328						3	213
前月比 %	-0.0	-	-	-0.2	1.4	-10.6	85.4	107.9	-66.7	-71.5
前年同月比%	-1.1	-	-	1.0	3.5	0.1	36.9	22.6	-62.5	-56.6
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		県統計分析課	東日本建設業保証	東京商工リサーチ			

※人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数

※日銀券の年次計数は年度累計

※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

※鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による

※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

※企業倒産は負債額1千万円以上

年次及び月	新車 登録台数 (台)	乗用車登 録届出 台数(台)	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	消費者 物価指数 2015年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	毎月勤労統計調査	
			総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)				現金給与総額 (円)	総実労働時間 (時間)
2011 (H23)	26,512	38,137	4,890	3,051	1,581	518	97.0	287,873	254,469	154.8
2012 (H24)	33,496	49,397	5,578	3,286	1,844	582	96.2	274,133	253,142	155.0
2013 (H25)	31,442	49,982	6,461	4,193	1,958	632	96.5	267,928	257,302	154.4
2014 (H26)	31,736	52,046	5,469	3,387	1,721	575	99.8	259,815	254,237	155.1
2015 (H27)	30,680	44,577	5,686	3,336	1,820	586	100.0	255,240	P 251,066	P 154.6
2015 (H27) 7	3,034	4,056	608	368	180	64	100.2	237,365	263,587	160.7
8	1,958	2,767	459	296	133	49	100.1	267,869	229,076	150.1
9	2,913	4,244	693	392	249	71	100.2	224,094	214,820	155.1
10	2,486	3,283	502	301	135	53	100.0	264,004	215,638	157.1
11	2,301	3,240	466	270	144	45	99.7	262,354	224,348	156.0
12	2,049	2,746	541	235	251	47	99.5	284,982	405,190	154.5
2016 (H28) 1	2,033	3,087	216	99	85	20	99.2	257,619	229,417	143.5
2	2,339	3,616	397	128	107	38	99.2	231,427	219,094	151.1
3	4,052	6,056	392	212	135	39	99.3	269,992	226,325	155.8
4	2,737	3,638	652	401	204	66	99.6	254,111	221,038	156.3
5	2,204	3,055	452	316	106	50	99.5	290,367	216,672	144.0
6	2,685	3,473	610	394	180	67	99.6	224,963	329,119	157.8
7	2,992	3,848	687	381	281	69	99.3	229,876	257,122	155.7
8	1,939	2,690	543	363	155	58	99.3	260,830	229,871	148.4
9	2,972	4,146	664	376	241	66	99.4	237,847		
前月比 %	53.3	54.1	22.3	3.6	55.5	13.4	0.1	-8.8	-10.6	-4.7
前年同月比%	2.0	-2.3	-4.2	-4.1	-3.2	-6.6	-0.8	6.1	0.3	-1.1
資料出所	自販協連合会青森県支部		県建築住宅課			県統計分析課	総務省	県統計分析課		

※毎月勤労統計調査は事業所規模5人以上を対象

青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	百貨店・スーパー 販売額 (百万円)	コンビニ 販売額 (百万円)	家電大型専 門店販売額 (百万円)	ドラッグ ストア 販売額 (百万円)	ホームセ ンター販 売額 (百万円)	りんご			漁業 (八戸港水揚高)	
						出荷量 (トン)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (トン)	金額 (百万円)
2011 (H23)	175,736	-	-	-	-	215,428	364	214	121,511	21,044
2012 (H24)	181,246	-	-	-	-	274,892	263	164	112,395	18,670
2013 (H25)	179,920	-	-	-	-	255,696	317	191	97,591	19,672
2014 (H26)	177,668	-	28,532	40,073	54,090	296,117	319	180	120,530	22,969
2015 (H27)	172,465	-	26,335	43,523	54,193	298,255	329	209	113,359	19,699
2015 (H27) 7	14,111	8,301	2,424	3,845	5,204	9,465	521	-	10,640	1,409
8	15,437	8,585	2,514	4,015	4,886	2,490	523	-	9,654	1,986
9	12,845	7,615	1,940	3,584	4,125	26,201	258	156	16,410	3,010
10	13,663	7,810	1,990	3,759	4,497	26,121	280	247	25,200	3,494
11	13,344	7,308	2,026	3,683	4,524	24,205	289	205	30,676	3,966
12	17,960	7,913	2,914	3,940	5,426	28,792	332	188	8,958	1,947
2016 (H28) 1	14,284	7,257	2,616	3,827	3,713	36,682	310	190	1,819	764
2	12,798	6,759	1,868	3,497	2,893	36,392	307	198	3,118	997
3	14,327	7,428	2,562	3,686	3,850	37,231	326	201	3,575	1,067
4	13,197	7,421	1,828	3,869	4,855	29,937	349	267	1,813	602
5	13,799	7,914	1,916	3,972	5,193	23,268	392	-	2,387	622
6	13,258	7,751	1,878	4,090	4,247	15,551	396	-	1,299	384
7	14,132	8,542	2,534	4,175	4,592	10,282	417	-	3,523	1,350
8	15,068	9,040	2,358	4,422	4,664	2,639	458	-	7,034	2,815
9	P 12,546	-	-	-	-	22,433	278	190	14,199	3,030
前月比 %	-	5.8	-6.9	5.9	1.6	750.1	-39.3	-	101.9	7.6
前年同月比 %	-3.4	5.3	-6.2	10.1	-4.5	-14.4	7.8	21.8	-13.5	0.7
資料出所	東北経済産業局				県りんご果樹課			八戸市水産事務所		

※百貨店・スーパー販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

※りんご年次欄はりんご年度の計数

年次及び月	有効求人 倍率(倍)	新規求人 倍率(倍)	雇用保険		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)		青森県景気 ウォッチャー調査 (現状判断 DI)	あおぎん BSI
			受給人員 (人)	受給金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)		
2011 (H23)	0.50	0.80	-	14,439	9,178	29,937	111,720	103,081	-	-
2012 (H24)	0.64	0.96	-	13,070	6,785	29,059	107,146	122,288	-	-
2013 (H25)	0.78	1.14	-	12,291	7,651	35,866	122,070	141,664	-	-
2014 (H26)	0.81	1.16	-	11,408	7,733	34,824	132,609	177,830	-	-
2015 (H27)	0.95	1.34	-	10,654	5,913	25,041	129,394	192,285	-	-
2015 (H27) 7	0.93	1.23	7,550	888	746	914	10,388	16,229	53.3	5.1
8	0.93	1.29	7,559	807	488	1,518	12,935	14,652	-	
9	0.94	1.30	7,020	814	400	1,117	8,953	31,322	-	12.0
10	0.95	1.29	6,288	689	476	2,095	12,160	11,871	49.3	
11	0.96	1.31	5,984	607	241	2,558	12,884	16,876	-	
12	0.97	1.35	6,654	716	326	2,551	4,391	14,637	-	
2016 (H28) 1	1.02	1.57	10,348	1,598	351	1,516	13,934	10,284	48.5	5.1
2	1.01	1.37	8,307	1,096	475	1,052	9,239	12,054	-	
3	1.03	1.36	6,673	873	374	1,787	10,032	8,588	-	-4.8
4	1.06	1.49	5,960	692	299	944	11,210	10,705	45.8	
5	1.06	1.49	7,048	830	472	889	9,692	8,893	-	
6	1.07	1.47	6,729	826	354	1,002	11,929	9,743	-	
7	1.10	1.52	6,591	711	291	757	10,010	14,739	48.3	-4.8
8	1.10	1.43	7,441	854	475	1,475	10,052	9,863	-	
9	1.11	1.41	6,143	696	386	1,042	5,155	11,471	-	
前月比 %	0.01ポイント	-0.02ポイント	-17.4	-18.4	-18.7	-29.4	-48.7	16.3	2.5ポイント	0.0
前年同月比 %	0.17ポイント	0.11ポイント	-12.5	-14.5	-3.4	-6.7	-42.4	-63.4	-	-
資料出所	青森労働局			函館税関、青森支署・八戸支署			県統計分析課		青森銀行	

※雇用保険の年次の値は年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び月	観光施設入 込客数(人)	宿泊者数 (人)	青森空港乗 降客数 (定期便) (人)	パスポート 発行件数 (件)	三市の宿泊者数 (人)			地区 BSI		
					青森市 (12施設)	弘前市 (17施設)	八戸市 (19施設)	青森	津軽	県南
2011(H23)	10,484,558	1,184,887	815,565	16,435	301,871	329,493	446,488	-	-	-
2012(H24)	10,852,850	1,248,715	819,941	18,765	322,945	334,981	496,548	-	-	-
2013(H25)	10,459,071	1,616,712	848,951	14,968	402,275	483,615	505,059	-	-	-
2014(H26)	9,878,186	1,498,169	903,389	13,560	374,463	487,827	505,045	-	-	-
2015(H27)	9,987,004	1,528,847	981,175	13,301	373,968	517,836	499,830	-	-	-
2015(H27) 7	933,629	134,768	85,873	1,075	35,139	45,442	38,478	6.1	15.1	-2.5
8	1,560,838	168,511	103,206	1,501	45,007	61,050	55,094			
9	1,022,417	146,598	96,801	1,036	35,898	48,991	47,031			
10	903,788	159,552	101,649	1,016	41,693	53,286	49,469	15.0	12.9	8.4
11	681,553	123,152	84,529	1,266	28,112	41,835	41,301			
12	528,779	110,862	69,759	1,045	24,593	35,453	40,135			
2016(H28) 1	468,359	102,158	69,081	1,319	25,684	31,678	35,026	1.3	14.8	1.3
2	471,690	107,184	71,039	1,056	26,148	37,109	34,564			
3	571,984	109,271	84,293	1,431	24,735	37,107	38,127			
4	812,847	119,087	80,070	1,050	27,512	47,277	35,340	-3.4	-7.0	-4.8
5	1,053,834	127,734	87,259	1,104	32,009	44,131	38,291			
6	902,370	134,567	90,257	1,172	34,781	47,229	39,886			
7	998,356	140,092	98,750	1,152	34,090	48,287	42,935	-10.6	4.8	-6.3
8	1,471,190	171,831	112,073	2,023	44,735	63,837	48,865			
9	957,213	137,523	101,989	1,161	35,312	47,723	41,995			
前月(期)比%	-34.9	-20.0	-9.0	-42.6	-21.1	-25.2	-14.1	-7.2※ ⁺ イント	11.8※ ⁺ イント	-1.5※ ⁺ イント
前年同月(期)比%	-6.4	-6.2	5.4	12.1	-1.6	-2.6	-10.7	-	-	-
資料出所	県観光企画課		空港管理事務所	県統計分析課	県観光企画課			青森銀行		

※観光施設入込客数は県内34施設合計、宿泊者数は県内53施設(2016.7以降)合計

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2011(H23)	299,250	183,378	237,327	6,650	2,928	5,856	1,134	612	1,247
2012(H24)	297,618	182,487	236,434	8,346	3,917	7,221	1,260	868	1,440
2013(H25)	295,145	181,057	235,585	7,740	3,612	6,467	1,665	822	1,457
2014(H26)	292,769	179,582	233,951	7,669	3,704	6,564	1,445	761	1,197
2015(H27)	290,251	178,098	232,634	7,424	3,598	6,101	1,378	871	1,395
2015(H27) 8	288,275	176,726	231,385	446	233	436	125	77	110
9	288,029	176,590	231,337	702	333	605	219	78	165
10	287,622	177,549	231,379	609	260	507	107	74	96
11	287,450	177,503	231,304	516	276	509	78	56	122
12	287,269	177,447	231,208	483	260	431	110	108	117
2016(H28) 1	287,160	177,383	231,098	496	214	415	40	48	66
2	286,952	177,222	231,040	547	258	454	119	136	78
3	286,626	177,015	230,917	1,136	518	671	105	42	143
4	284,815	175,739	230,070	726	287	598	206	67	175
5	285,536	176,308	229,994	523	238	461	103	60	92
6	285,356	176,196	229,811	687	287	592	169	115	111
7	285,106	176,105	229,809	802	315	623	177	136	133
8	284,978	176,154	229,805	461	227	431	116	74	145
9	284,936	176,025	229,661	693	340	621	157	85	159
10	284,754	175,900	229,527						
前月(期)比%	-0.1	-0.1	-0.1	50.3	49.8	44.1	35.3	14.9	9.7
前年同月(期)比%	-1.0	-0.9	-0.8	-1.3	2.1	2.6	-28.3	9.0	-3.6
資料出所	県統計分析課			自販協連合会青森県支部			県建築住宅課		